



春秋社版世界音楽全集
[新校訂版シリーズ]

CLARA SCHUMANN

The Complete Works For Piano

Edited and Revised by Hiroko Kawashima
編集・校訂・運指 川嶋ひろ子



●各巻収録作品

■第1巻(2月刊)
4つのポロネーズ Op.1
エチュード
ワルツ形式によるカプリス集 Op.2
ロマンスと変奏 Op.3
ロマンティックなワルツ Op.4
4つの性格的小品 Op.5
音楽の夜会(全6曲) Op.6
ヘルマーニ「海賊の歌」にもとづく
演奏会用変奏曲 Op.8
即興曲「ウィーンの思い出」 Op.9
スケルツォ Op.10
3つのロマンス Op.11

■第2巻(6月刊)
ピアノ・ソナタ短調
スケルツォ 第2番 Op.14
4つの束の間の小品 Op.15
即興曲
J.S.バッハの主題による3つのフーガ
3つのプレリュードとフーガ Op.16
プレリュードとフーガ 嬰へ短調
ローベルト・シューマンの主題による
変奏曲 Op.20
3つのロマンス Op.21
ロマンス イ短調/ロ短調
行進曲/練習曲集/前奏曲集
学習者のためのやさしい前奏曲

●菊倍判箱入 第1巻180頁 第2巻190頁 ●予価 各3000円

単行本：楽譜刊行記念出版 6月刊

モニカ・シュテークマン 著 玉川裕子 訳
クララ・シューマン 生涯と作品(転題)

ドイツ・ロマンティズムを生きた音楽家の波瀾に満ちた人生。定評あるドイツ・ロロ伝記叢書のコンパクト全評伝。
四六判上製カバー装 248頁 予価2500円

注文書 編集・校訂 川嶋ひろ子 特約店(番線)

クララ・シューマン ピアノ作品全集(全2巻)

第1巻 冊 第2巻 冊

ご住所 〒

電話

お名前

(株)春秋社 TEL 03-3255-9611 FAX 03-3253-1384

クララ・シューマン ピアノ作品全集(全2巻)

川嶋ひろ子[編集・校訂]

校訂者の言葉

クララ・シューマン(1819~96)は、ローベルト・シューマンを支えた妻として、またブラームスが敬愛し続けた女性として、広くその名を知られている。ローベルトに作曲上のインスピレーションを与えただけではなく、旺盛な演奏活動によって彼の作品を世に広めた。ブラームスに対しても、ローベルト死後、創作上のアドバイスを与え、少なからぬ影響を及ぼしている。

クララのピアニストとしての傑出した華々しい活動は、19世紀の音楽界を彩ったばかりか、歴史上多大な足跡を残したが、他方、作曲家としての側面も忘れてはならない。彼女の音楽を端的に表すなら「ローベルトよりも明快でショパンよりも複雑な音楽」であり、ドイツ・ロマンティズムの「薫り」と「綾」から紡ぎ出される豊かなピアノにあるといえよう。作品に溢れる優しさや力強さ、そして時折覗かせる可憐な表情は、人々の心を癒し、魅了してやまない。

しかしながら、そうしたクララの音楽そのものを知る人は、さほど多くはないと思われる。大作曲家たちの影に隠れてきた感も否めないといえ、肝心の楽譜の入手が叶わない事情もあった。近年、とりわけ1996年、ドイツでの「クララ・シューマン没後百年記念」行事を機に、楽譜や書籍、ディスク等が多数出され、あらためてクララに対する再評価・再認識の気運が高まってきている。

当版は、クララ・シューマンのピアノ独奏曲の全容を全2巻に収めた(作曲年代順)。未出版作品も含め、原資料(自筆譜・初版譜)および各版を精査し、然るべき校訂を終り、現代版として提示するものである。

クララ自身卓越したピアニストであったゆえ、そのピアノ書法はかなり高度なテクニックを要する。演奏に際しては、作品の意図を鑑みつつ演奏上の工夫を施さなければならぬ。当版ではそうした演奏上の助言(テナーリング、アーティキュレーション、運指、ペダリング等)を譜面上に示すことによって実践的な版をめざした。

当版によりクララ・シューマンの作品が多くの人たちに演奏され、理解されることを願ってやまない。



クララ・シューマンのピアノ独奏曲の全容を作曲年代順に収録。長年の研究に基づくテキスト・クリティックを経た校訂版。入手しうる資料を精査しつ、クララの音楽様式・書法上の特質を検討した上で従来の各版に見られる記譜上の誤脱の解消、不備・不統一を整備し、作曲者の意図したテキストを提示。運指・ペダリング等、演奏のための助言・情報を駆使した実践版。ゆつたりした読みやすレイアウト。

32

128

Exposition e presto (1. 48)

終見本 左=(ロマンスと変奏) 右=(即興曲「ウィーンの思い出」)

縮小率43%

校訂者略歴 川嶋ひろ子



武蔵野音楽大学、およびベルリン芸術大学を卒業。東直一、福井直俊、天野和佐に師事。その後、G・ヴェーマイヤー、H・ブラウス、G・ヴァンシャペーリ、K・シルデ等諸氏のもとで研鑽を積む。ショパン生家サロンコンサート出演、ベートーヴェンハウス・ボンでのリサイタル、シューマンハウス・ライプツィヒ主催による「ロー

ベルト・シューマン201歳誕生日コンサート」のリサイタルをはじめ、放送、ガラコンサート、リサイタルなど、国内外にて幅広く演奏活動を行っている。またクララ・シューマンの研究に力を注ぎ、さまざまな機会に研究発表を行うと共に、コンサートにてクララ作品を数多く取り上げている。CD「川嶋ひろ子 plays クララ・シューマン」(2007年)がある。現在、尚美学園大学・大学院教授。